

学校番号	56	学校名 (課程)	上伊那農業 高等学校 (全日制)
------	----	----------	------------------

(様式1)

平成31年度入学生 キャリア教育全体計画書

1 全体目標

○生徒が主体的に進路を選択し、将来を拓くために必要となる能力や態度をはぐくむことを通して、わたしと伊那谷をデザインできる人間を育成します。

2 現状・課題

上農高校では、「上農で、わたしと伊那谷をデザインする」という本校の理念をよく理解し、その学習に期待して入学した生徒が多い。これは地域で活躍したいと願って入学する生徒がいる一方で、自信がなくて自分を見つめなおしたいと願う生徒も共存して入学する生徒がいることを意味する。そのような多様な生徒たちを、わたしと伊那谷をデザインできる人間に育成するためには、生命に学ぶ実践的な取り組みを通して基礎学力、表現力、課題解決力、実践力をつける農業学習の充実が大切である。そのためには、理念に基づいた校内体制を着実に推進させるとともに外部との組織的・体系的な連携づくりを整えることが課題である。個々の教員では、研修を通して上農職員の行動指針に沿った力を一層高め、教育課程全体を通して生徒一人ひとりが生命に問いかけ、生命から学ぶことを意識した学習活動を行えるように仕組む共通認識の醸成が課題である。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい。

- a 自分らしい生き方をデザインするための基礎学力
- b 自己理解を深め、自分の思いを的確に周りに伝える表現力
- c 農業や地域の課題を考え、自らの課題をも解決しようとする課題解決力
- d 主体的に活動しようとする実践力

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉え意識させる。〈全て〉 イ 農場実習を通して自己の興味、関心、適性を意識させると同時に、勤労の意味や必要となる力を考えさせる。〈①、②、③〉
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 世界規模の視野を持って伊那谷の課題解決に取り組むことで、自己の在り方や地域の在り方を考える力をはぐくむ。〈①、③〉
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	エ 専門基礎科目の学習を充実させて、2年時に適切なコースで学習ができるようにさせる。〈①、④〉
④ 卒業後の進路を選択し、実現をめざす	オ 基礎的な知識、技能の習得と思考力、表現力の育成を図る。〈②〉 カ 学界や産業界等からの講演会や指導を充実させ、自分が身につけたい力を意識させる。進路を前向きに考えられるようにさせる。〈①、②、③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校までの学習を踏まえた農業の導入科目 (農業と環境、総合実習) の展開 (1年) ・ 専門教科との関連を重視した普通教科の学習 (1, 2, 3年) ・ 専門科目の学習に対応できる基礎学力の確認と定着、少人数授業 (1, 2, 3年) ・ 伊那谷に暮らす専門家による指導 (1, 2, 3年) ・ 将来を考えた資格取得 (1, 2, 3年) ・ 信大農学部、南部小学校、南箕輪保育園、伊那養護学校との連携 (2, 3年)

総合的な探究の時間	・研究課題 自らテーマを設定し、伊那谷の方々と協働して行う調査・研究活動、発表会 (3年)
特別活動	・講演会、進路ガイダンス (1, 2, 3年) ・新社会人ワーキングセミナー (3年) ・キャリア教育の日 (1, 2, 3年) ・進路の研究、進路セミナー (1, 2, 3年) ・適性検査 (1, 2年) ・マナー指導 (1, 2, 3年) ・コース選択、科目選択 (1, 2年) ・上農祭、クスマツ (1, 2, 3年) ・クラーク塾 (1, 2, 3年) ・信大農学部、伊那養護学校との連携 (1, 2, 3年)
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・就業体験 (2, 3年コース) ・インターンシップ活動 (1, 2, 3年希望者) ・ワークリサーチ (2年) ・大学見学会 (1, 2, 3年希望者)
地域や産業界等との連携	・地域連携学習協議会をきっかけとした連携 (2, 3年) ・高校内企業説明会 (2年) ・産業現場視察 (3年) ・ワークリサーチ (2年) ・就業体験 (事前指導、活動、事後指導を含む) (1, 2, 3年希望者)
評価	・各取組のまとめを次年度の改善に反映 ・学びの基礎診断測定ツールによる生徒意識調査の活用、職員の共有
中学校との連携 (指導の継続性)	・中学校に出向いて行う、中学生、保護者に向けた学校紹介 ・中学校に出向いて行う、先生方に向けた学校紹介 ・中学PTAが来校して行う、学校紹介 ・南箕輪中学校との交流会 ・本校生に対する、入学前までの希望を含んだ進路希望調査の実施 ・本校生に対する、面談指導 ・中高連絡会での情報交換 ・体験入学・入試説明会、中学生の希望者に対する学校案内 ・朝の読書・
校内の推進体制	・キャリア教育推進委員会 ・進路学習指導系との連携 ・学年との連携 ・新学科推進委員会

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○中学を卒業して上農生になる ○自己・他者を知る、地域を知る ○進路を知る ○規則正しい生活を身につける	○自己の在り方、生き方を探る ○働くことについて考える ○進路を研究する	○自己理解を深める ○将来の生活・目標を考える ○進路実現を目指す ○専門性の深化
主 な 取 組	○高校生活への適応、仲間づくり ○基礎学力の確認 ○専門科目で地域・農業を知る ○進路研究と2年次コース選択 ○あいさつの習慣を身につける	○専門科目への取組 ○修学旅行 (上農祭を含む事前学習、まとめ、発表) ○就業体験、ワークリサーチ ○オープンキャンパス参加	○進路実現までの具体的な取組 ○進路研究 ○課題研究
評 価	・学びの基礎診断測定ツールによる生徒意識調査 ・アセス調査、面接 ・学習記録	・学びの基礎診断測定ツールによる生徒意識調査 ・アセス調査、面接 ・学習記録	・学びの基礎診断測定ツールによる生徒意識調査 ・アセス調査、面接 ・進路状況

・将来を考えたコース選択	・コースアンケート	・課題研究発表会
--------------	-----------	----------

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	4 基礎力判断・習熟度別講座 専門導入科目の展開 7 地域・農業を知る		スタートカリキュラム キャリア教育の日 講演会、自己理解学習	進路希望調査 面接週間 生徒理解調査 基礎力診断テスト 三者面談
	夏休 資格取得		農家実習・就業体験活動	
	9 コース選択 12 コース決定			進路希望調査 三者面談 コース選択説明会
	1 研究レポートの書き方 3 コース学習の開始 春休		農業の魅力発見セミナー 進路ガイダンス	生徒意識調査
			農家実習・就業体験活動	評価と次年度の計画
2 年	4 コースで専門の基礎基本を 学びはじめる 7		進路研究 (学問研究・職業研究) キャリア教育の日 講演会、ワークリサーチ事前 学習	生徒意識・進路希望 調査 面接、SPI テスト 基礎力診断テスト 三者面談
	夏休 資格取得		先進農家実習、就業体験活動 資格取得 上級学校見学	
	9 3年次科目選択 12 研究レポート、上級検定		進路ガイダンス 修学旅行 進学職業研究 ワークリサーチ	進路希望調査 SPI テスト WR 実施 三者面談
	1 3	(課題研究発表見学)	高校内企業説明会 進路設計プランの発表 農業の魅力発見セミナー	生徒意識調査 基礎力診断テスト
	春休		先進農家実習、就業体験活動 上級学校見学	評価と次年度の計画
3 年	4 7	課題研究計画テーマ決め 課題研究の実施	産業視察に向けて キャリア教育の日 講演会 産業視察実施	進路希望調査 生徒意識調査 面接 就職指導・進学指導 基礎力診断テスト SPI 応用
	夏休		事業所見学	

10 11 内定者就労学習 12 進学に向けての学習補習	課題研究のまとめ	上農祭発表 就職準備学習・状況報告	
1 進学に向けての学習補習 2	課題研究の発表	新社会人ワーキングセミナー	進路状況まとめ 3年間の評価